Panasonic® 窓用心（マグネット付）

（ブラウン）品番 EC951AP （グレー）品番 EC951HP

取扱説明書

施工説明付き

EC951AP・EC951HP

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●この取扱説明書は大切に保管してください。
●万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品	●マグネット……1コ ●警戒中シール……1枚 ●お客様ご相談窓口のご案内……1枚 ●取扱説明書（本紙）……1枚

●乾電池別売：単4形乾電池×2本

安全上のご注意　■必ずお守りください

⚠注意

必ず守る

乾電池は極性に注意して表示通りに入れる。
極性を間違えると、乾電池の破裂や液もれの原因となります。

乾電池を交換する際は、2本とも新しい乾電池と交換する。
新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、乾電池の破裂や液もれの原因となります。

窓の開閉時、指のはさみ込みに注意する。

確実に固定する。
固定に不備があると、落下によりけがをしたり、床面にキズをつけるおそれがあります。

ご 注 意

●この商品は屋内で使用してください。
●防水構造ではありません。水のかかる場所には取り付けないでください。
●この商品は、本体の中にあるリードスイッチがマグネットの磁力によって開閉され、警報する商品です。近くに強い磁力を発生するものがある場合は、誤動作するおそれがありますので注意してください。鉄製のサッシなどへは取り付けできません。
●本体とマグネットを組み合わせて使用し、窓が開いたことを知らせる機能を持っていますが、侵入・盗難を阻止する商品ではありません。発生した損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
●本体やマグネットに衝撃を与えないでください。落としたり、窓を強く開閉すると、誤動作や破損・変形の原因となります。
●電池寿命は1日1回（1分間鳴動させた場合）の動作で約1年です。警報音の鳴動時間が短くなったり、音量が小さくなった場合は、乾電池を交換してください。（「電池の入れ方」参照）
●0℃以下、40℃以上の使用環境では電池の性能が低下し、動作しない場合があります。

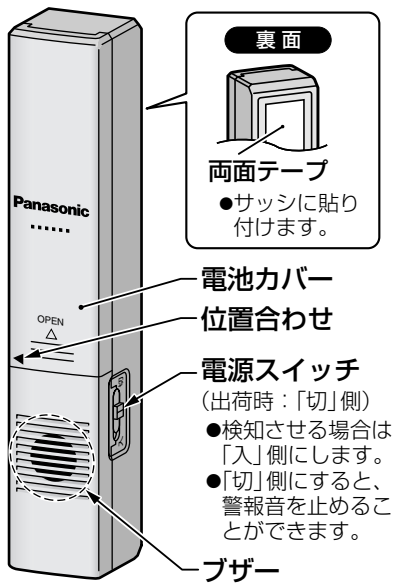
お 手 入 れ

●ふだんのおそうじは…
やわらかい布でふき取ってください。
●汚れが目立つときは…
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。噴霧式の洗剤は使用しないでください。

注：ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

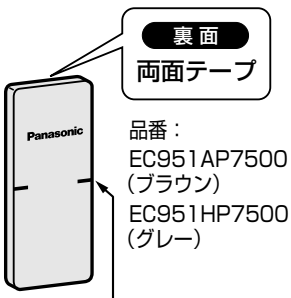
■各部のなまえとはたらき

本　体



マグネット

●ガラス面に貼り付けて使用します。

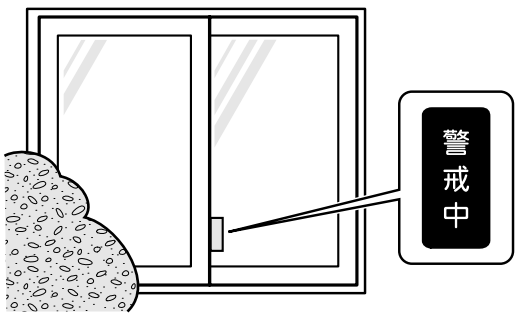


注：確実に位置合わせをしないと、警報音が鳴り続けます。

警戒中シール

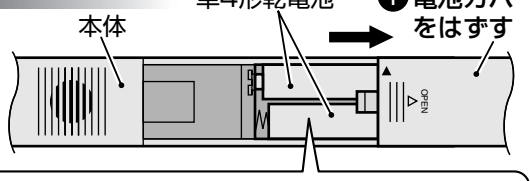
警戒中

●ガラス面に貼り付けて、外側から警戒中であることを知らせます。
●マグネットと重ねて貼り付けると、外側から見たときに、マグネット貼り付け面を目立たなくすることができます。
（裏面「5 警戒中シールを貼る」参照）

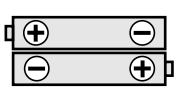


■電池の入れ方

注：乾電池には使用期間があります。ご使用の際には乾電池に記載してある使用推奨期限を確認してください。



❷単4形乾電池2本（別売）を入れる
●極性を間違えないように入れて、電池カバーを取り付けてください。



■仕　様

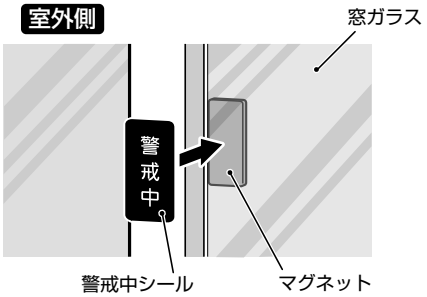
電　源	単4形乾電池×2本
電池寿命	約1年（1回（1分間鳴動させた場合）/1日）（マンガン乾電池使用時）
音　量	70dB以上（前方1mにて）
使用温度範囲	0℃～+40℃
質　量	本　体：約40g（電池は含みません。）
	マグネット：約20g

■取付方法(パッケージ台紙裏面を確認してください。)

1 貼り付ける部分のサッシおよび窓ガラス面の汚れや水滴をふく。
2 マグネットの両面テープを半分はがして、マグネットを貼る。(仮固定)
3 本体の両面テープを半分はがして、本体を貼る。(仮固定)
4 動作確認後、本体とマグネットの残り半分の両面テープをはがして、固定する。(固定)
5 警戒中シールを貼る。

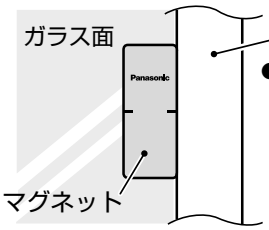
注 ●貼付位置の汚れを落とし、ぬれている場合は乾かしてから貼り付けてください。また冬期はストーブなどで粘着面を温めてから貼り付けてください。汚れやぬれていたり、粘着面の温度が低過ぎると、粘着力が弱くなり、はずれるおそれがあります。
●粘着力が強いため、一度貼り付けると取りはずすことが困難なので、あらかじめ窓の開閉時に本体やマグネットが当たらないことを確認してから、貼り付けてください。
●貼り付け後、はずれないように強く押し付けて、取付状態を確認してください。
●両面テープは最初は粘着力が弱い場合がありますが、一昼夜程度で十分な粘着力になります。(本体やマグネットに強い衝撃を与えないようにしてください。)

室外側からマグネットをおおうように警戒中シールをガラス越しに貼り付ける。



注 マグネットの貼付部分がすりガラスなどで貼りにくい場合は、マグネットの位置ではなく、窓ガラスの透明部分に貼ってください。

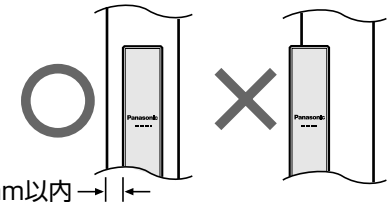
取付時のポイント ②



●マグネットはガラス面の右端に取り付けてください。本体とマグネットが離れ過ぎると警報音が鳴り続けます。

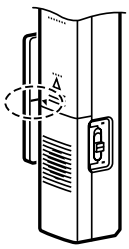
取付時のポイント ①

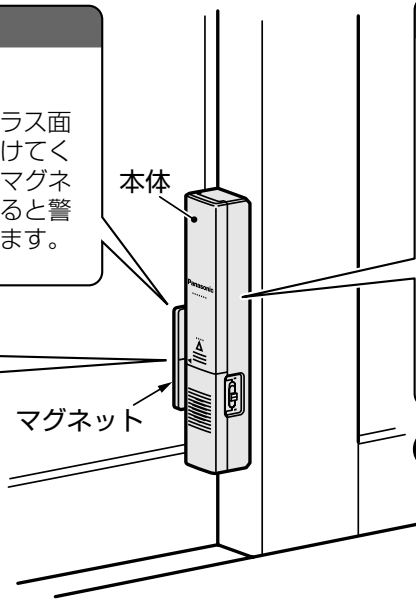
●マグネットに近づけるようにサッシ幅の奥から2mm以内に取り付けます。
●本体はサッシ幅からはみ出さないように取り付けます。



取付時のポイント ③

注 位置合わせマークを確実に合わせてください。
合っていないと、警報音が鳴り続けます。





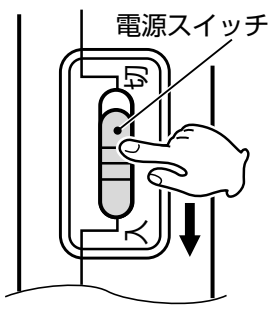
取付後の動作確認

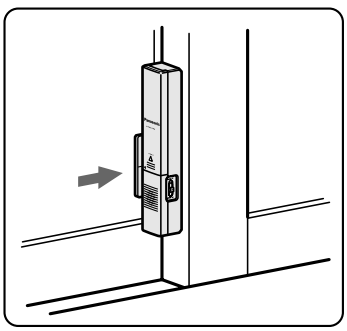
❶窓を開閉して、サッシと本体、または本体とマグネットが接触しないか確認する。
❷「使い方」の項目にしたがって、正常に動作することを確認する。

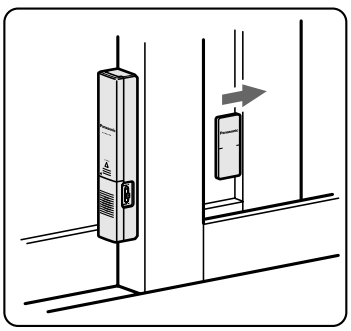
■使い方

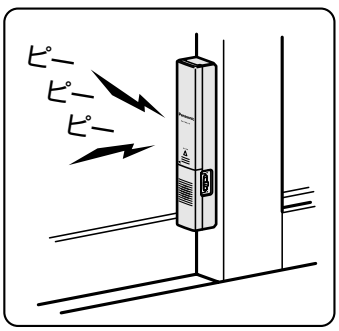
警報セットした場合

1 電源スイッチを入れる → 2 窓を開けると… → 3 本体とマグネットが離れて → 4 警報音が鳴動









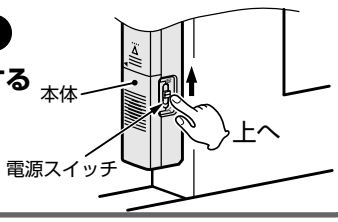
■使用上のご注意

●サッシなどのガタツキにより、サッシと本体やマグネットが接触する場合は、サッシなどにキズをつけるおそれがあります。窓の建て付けの修理をしてください。
●警報セット時以外は、電源スイッチは「切」側で使用してください。
(「入」側では窓を開けたときに警報します。)

警報音の止め方

電源スイッチを「切」側にする

注 警報音は電源スイッチを「切」側にするまで鳴り続けます。



パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 0120-283338 FAX 0120-551626

© Panasonic Corporation 2012
8A2 438 00005 M1201-40112A